



東京三弁護士会多摩支部市民憲法講座～憲法改正問題に取り組む全国アクションプログラム～

憲法改正を考える！

—映画『第九条』上映会・講演会—

【日時】

2019年6月13日(木)

18:00～20:30

【場所】

たましん RISURU

小ホール(旧立川市民会館)

入場無料!
事前予約不要!!

【第1部】

映画『第九条』

上映会 (78分)

【第2部】

宮本正樹監督／
阪口正二郎教授

トーク セッション

Talk Session



拉致問題

正義

日本国憲法第九条。あなたは維持か？破棄か？

真実

米軍基地

戦争

第九条

Article 9

自衛隊

ダグラス
マッカーサー

監督・脚本 宮本正樹

南圭介 馬場良馬 タモト清風 松本寛也 荒牧慶彦 聡太郎 小笠原健 中村僚志 はねゆり 森レイ子 網島恵里香 睡蓮みどり



20XX年、時の政府は日本国憲法第九条の改正の検討に入った。国民の意思を聞くため、諮問委員会を様々な職種の20代の若者12人のメンバーで作った。弁護士で九条破棄派の秋葉(南圭介)、国際ボランティアNPO法人で海外での活動から九条維持派の五井(タモト清嵐)、防衛大学生で九条破棄派の木部(馬場良馬)、ニートで人の意見に流される岩間(聡太郎)等、それぞれの立場で第九条の議論を重ねて行く。最初は議論する事に疑問視するメンバーであったが、日本国憲法成立の歴史を知り、少しずつ議論を重ねて行き、それぞれが日本の未来を真剣に考え、自分の想いを吐露して行く。果たして、激しい意見の格闘の末、彼らの出した結論は？日本の運命はどうなるのか？



宮本正樹 監督

【経歴】1973年4月7日生まれ。日本大学藝術学部映画学科卒、日本大学大学院藝術学研究科博士前期・後期課程修了。芸術学博士号取得。

【監督作品】AC公共広告『いじめバイバイ・みんなの勇気編』(1998)、『Family』35mm中篇映画(2001)、『20年後の約束』35mm短編映画(2003/第3回シーズ・ネクスト Survive16選出)、『うそつき由美ちゃん』35mm短編映画(2003/黒澤明記念ショートフィルム・コンペティション2006奨励賞・小津安二郎記念蓼科高原映画祭第5回短編コンクール入賞・フジフィルム主催フィルムラバーズフェスタ奨励賞)、『オーディション・ザ・ムービー』35mm短編映画(2007/フジフィルム主催フィルムラバーズフェスタ2007グランプリ)、『夢』35mm短編映画(2009)、『折り鶴』短編映画(2012/伊勢崎映画祭特別招待作品)、『共に歩く』長編商業映画(2014)。

【著書】『バミュダ・トライアングル』(エンターブレイン社)、『半次郎』(幻冬舎)

阪口正二郎 教授

【経歴】一橋大学大学院法学研究科教授。

兵庫県西宮市出身。

元全国憲法研究会事務局長、立憲デモクラシーの会呼びかけ人。

【著書】『立憲主義と民主主義』、共編著『憲法改正をよく考える』等。

憲法とは何か、憲法を改正するとはどういうことなのか、映画を見ながら監督と、教授と、一緒に考えてみましょう！

【会場】たましん RISURU 小ホール 東京都立川市錦町3丁目3-20

徒歩

- ・JR中央線立川駅南口より徒歩13分
- ・JR南武線西国立駅より徒歩7分
- ・多摩モノレール立川南駅より立川南通りを直進。徒歩12分。

バス

- ・立川バス「立川駅南口」より「国立駅南口」行きのりば 系統 下車バス停名
4番 国15-2 たましん RISURU ホール (バス停3個め)
5番 国15-1 子ども未来センター (バス停3個め)
- ・立川バス「国立駅南口」より「立川駅南口」行きのりば 系統 下車バス停名
1番 国15-1 子ども未来センター (バス停11個め)
6番 国15-2 たましん RISURU ホール (バス停14個め)



【主催】東京三弁護士会多摩支部/東京弁護士会/第一東京弁護士会/第二東京弁護士会

【共催】日本弁護士連合会 / 関東弁護士会連合会

【連絡先】東京三弁護士会多摩支部 電話：042-548-3800